TACHITSUTETO
PRESENTS
ORIGINAL STORY & ILLUSTRATION
JOE TAKEDUKI &
YUJI NIMURA
The Levitation of the Covenant
盟約のリヴァイアサン
VOL 2
作画
舘津テト
原作
丈月城
キャラクター原案／仁村有志
構成協力／ぱう
MFコミックス
アライブシリーズ

もう一度私と共に戦って！
ルサールカ!!

第4話
蒼きルサールカ
イアサン
VOL
2

盟約のリヴァ

THE LEVIATHAN OF THE COVENANT

VOL. 2

CONTENTS

TACHITSUTETO PRESENTS

ORIGINAL STORY & ILLUSTRATION

JOE TAKEDUKI & YUJI NIMURA

第4話　蒼きルサールカ 001

第5話　ひどく不確実な挑戦 023

第6話　悪魔の取引 055

第7話　よみがえる焔 081

第8話　白坂羽純 115

あとがき 156

The Leviathan of the Blue Planet
盟約のリヴァイアサン
VOL 2
TACHITSUTETO PRESENTS
著者 龍津テト
原作 文月城
キャラクター原案 [illegible]
構成協力 [illegible]

盟約のリヴァイアサン

The Leviathan of the Covenant

前回までのあらすじ

月と衛星軌道から破壊衝動の習性を持つドラゴンたちが飛来し、都市部を襲撃することが不意の大災と同じ頻度となった昨今――。人類はドラゴンに対抗するための形而上的知識体系（魔術）を復活させ、蛇霊体（リヴァイアサン）を駆り、抗戦の日々を送っていた。

〝蛇〟の契約者にして竜を討ち滅ぼす救世の戦乙女――〈魔女〉。彼女たちの契約をプロデュースすることを生業とする少年・ハルこと春賀晴臣は、幼なじみで欧州屈指の魔女・アーシャの要請で3年ぶりに「東京新都」に帰還する。

魔導研究の資料を集めるために訪れた魔導書保管庫「魔女の館」にて、転入先の同級生・十條地織姫と出会う。

しかし、そこに運悪く小型種トラゴンが飛来し窮地に陥るものの、織姫が操るリヴァイアサン・氷無月の力で、撃退に成功する。

そんな折り、研究機関〈SAURU〉に所属するハルとアーシャの元に十條地家から盟約儀式の依頼が舞い込む。

織姫をリヴァイアサンのパートナーである〝魔女〟とするために東京相借地で儀式を行うものの、そこに突如上位種のドラゴンであるラーク・ルソスが襲いかかってくる。

この絶対的ピンチを脱するべく、アーシャは自身の相棒でもあるリヴァイアサン・蒼きルサールカを呼び出すのだった。

キャラクター紹介

春賀晴臣 Haruomi Haruga

研究機関〈S.A.U.A.R.U.〉に所属する少年。
調約眞式のプロデュースを生業としている。

「なあアーシャ。君、前に食用の菊が何かをむさぼり喰ってなかったか？」

アーシャ Asya

晴臣の幼なじみで欧州屈指の〈魔女〉。
小柄な見た目とは裏腹に、かなりの大食い。

「い、言うにことかいてケダモノとか獣とか怪物とか！
晴臣は、花の乙女を何だと思っているのですか!?」

十條地 織姫 Orihime Jyujyouji

〈魔女〉候補のお嬢様。
晴臣に興味を持っている。

「春賀くんは同級生でお友達。
しかも、お互いの秘密を知ってる同士なんだから」

火之迦具土 Hinokagutsuchi

緋色の和服を身につけた謎の少女。
晴臣の前だけに姿を見せる。

「気付いているか、小僧。
おまえは今、悪魔に逢っているのだぞ」

THE LEVIATHAN IF

VOL. 2

THE COVENANT

ORIGINAL STORY & ILLUSTRATION
JOE TAKEDUKI & YUJI HIMURA

ふふふふ
無謀気づいていたぞ
死すべき種族の
贄となりし乙女よ
君がまとう
〝まがいもの〟の匂いに――
君たちこそ私が欲する獲物
キュアアアアアアアアアアッ！
真に蹂躙すべき敵！
ルルク・ソウンの紋文字よ

我が神秘の楯となれ！
イイイ
ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ
ゴゴゴゴ

ヒュオオオ

ルサールカ！

キュウゥゥウウッ！
僕たちを庇って…
ア
ア
ア
ア
ア

ふふ
我が身中の焔
まだ然が足りない
ようだ
しかしその
問題も直に解決
できるだろう
それまで私との
闘争に付き合ってくれ
〝まがいもの〟よ！
ウォーミング
アップのつもり
ですか……

上位種が吐く焔はまだまだこんなものじゃないんだよ
そんな…
それでも
パラ
パラ
今のルサールカには重い焔なんだ
大丈夫…あなたの体はまだ保つはずです
私が保たせてみせます
ギュッ
だからもう少しだけがんばってルサールカ…

ルサールカの肉体は崩壊しつつある
だが戦闘はこれからより激しくなる…
……十條地
どうにも旗色がまずそうだから早くここを離れろ
今ならドラゴンの興味はルサールカにだけ向いている
君ひとりならたぶん逃げられるよ
春賀君それってどういう意味？
単純な計算問題を解いただけだよ
ひとりは命を捨う選択肢があるんだから
三人まとめてやられるよりは全然いいと思ってね
あのラーク・アル・ソスという上位種は火炎放射を続けて熱の熱を高めていくつもりみたいだ
ルサールカは僕たちを庇うために回避が許されない
まだ持ちこたえてはいるけどあまり猶予はないだろう

新都まで徒歩で帰るのは大変だし危険もあるけど
あの上位種にやられるよりは随分ましな試練のはずだ
車で移動するより発見されづらいだろうしね
バカを言わないで！
逃げる時は春賀君も連れていくわよ！
今の春賀君のような病人みたいな人を放り出して避難できるほどわたしは図太くないの！
そんなことしたら良心の呵責に耐えかねてこっちが心の病を発症しちゃうわ
絶対に！

ドドド

ガルル
アーシャ……
いつもあんな
感じなら惚れちゃう
かもしれないのにね…

晴臣の様子
やっぱりよくない
ようですね…
二人とも死なせる
わけにはいかない…
ルサールカ！
擬似神格を顕体化!!
キュアアアアアア

盟約のリヴァイアサン

The Leviathan of the Covenant

vol. 2

THE LEVIATHAN OF THE COVENANT

VOL. 2

一人とも死なせるわけにはいかない…
ルサールカ！
擬似神格を顕体化!!
キュアアアアアアアアアッ！

第5話 ひどく不確実な挑戦

「ひどくふかくじつなちょうせん」

アーシャは
第五階梯の魔女
これは「一日に五回
力の使用を命じられる」
力量の持ち主という
意味である
命を刈り
竜属上位種に匹敵する
魔力の行使
その蛇の力を
「擬似神格」と呼ぶ
魔女の階級は『蛇』に
力を使わせられる
回数によって決まる
ふふ
〝まがいもの〟の
身で

眷属を従えるか

ルサールカ
仕掛けるのはまだ
今は自分と私たちの
防御を最優先に
あの上位種を
押し切る力は
こちらにはない
なら相手が
疲れるのを待って
隙が生まれる
のを待つ…

やはり手強いな
しかし だ
それだけに手負いであるのが惜しい
本来であればもっと様々な手管で私を愉しませてくれたであろうに…
見抜かれていましたか…
折角の強靭さも傷のためになまくらとなったか
惜しい駒だ
そして典の削がれる駒だ

休眠を終えて
初めての獲物で
あるというのに！
愚鈍なるハボネスども
王への道への探求者
ジズーの召し出しに応えよ
キラン
あなたも眷属を
呼びますか！

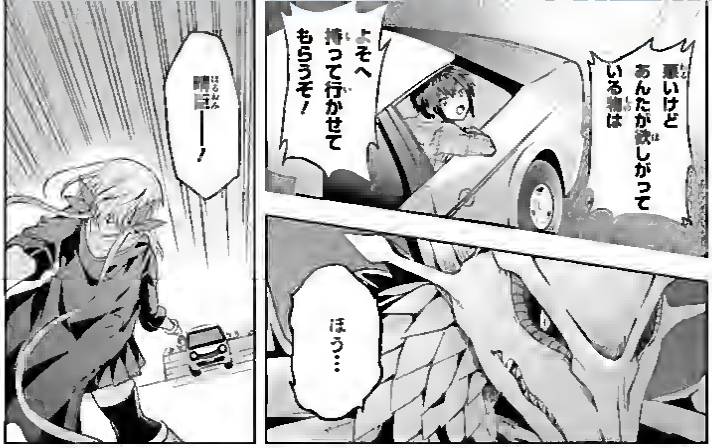
うむ
腕を削がれたと言っただろう？
君の相手は
羽トカゲどもに任せよう

では私の方は失礼して
その宝珠を回収させていただこうか
な…
…晴臣!?

数分前――――
アーシャは身動きが取れず僕の幻覚もおさまる様子はない
ひどく不確実な挑戦になるから
できれば避けたかった手だけど
あの計画を試すしかないようだ…
痛っ…！

ポータ
ちょっと
春翼君？
一体どうしたの!?
よし…
幻覚が…
消えた
…君は忘れてる
みたいだけどさ
儀式中に起きた
不慮の事故から君を
ガードするのも
僕らが請け負った
業務なんだ
ギャラ分の
仕事はしないと…

ダッ
え？
キュ
む？


悪いけど
あんたが欲しがっている物は
よそへ持って行かせてもらうぞ！
ほう…
静音――！

コク

ギャギッ
おとりになるなんて無茶よ！
春賀くん！

このままある程度距離を取って廃墟の中を逃げればあるいは…
幸いそこそこに土地勘はある
オオオオオオオオ
うまくいけばまだ助かる！
な…？

オオ
オオ

くっ
ブォン
ブォン
ブォン
まぁ時速
50キロでも
200キロでも
ドラゴンども
には大差ない
だろうけど…
あの上位種の目的が
鏡そのものなら
巻き込まないにも
荒っぽいことは
しないだろう

形が変わろうが
神性や魔力は
失われることは
ない…

それに
僕たちを
だけだったら？

でも 副産物が宿した
魔力自体が目的だったら？
くそ！
吐くなよ！
吐くな 吐くな 吐くな——

蛇との盟約は
どうして女性にしか
できないのか教えて
ほしいって？
詳しく説明すると
長い話になるから
シンプルにいうと
才能の差だ

才能だって？
うん
神・魔術・怪物といった
超自然の事象に携わる
職能の男女比は太古の昔から
女性の方が上だった
巫女・魔女
生贄の乙女―
もちろん同じ役割を
男がこなすケースもある
でも比率で言えばやっぱり
女性の方が多数派だ
この分野の資質は
それだけ性別に左右
されるんだ

そうか
女子の方が魔法使い
としてすぐれてるんだな
お前も知ってのとおり
人間族が魔術と縁を切ってから
何世紀も過ぎてしまっている
私たち
産業革命
以降は特にな
使わない能力は
自然と衰えるもの
だろう？

神代の昔とくらべたら
現代人の魔術的要素は
ずいぶん低くなって
しまったのさ
結果
蛇と心を通わせ高等魔術を
実践できるような逸材は
もともと資質に
優れている女性にしか
現れなくなったわけだ

パチ。
わあぁ！
……
生きて…る…？
なんで…
火傷(やけど)ひとつしてない…
よな

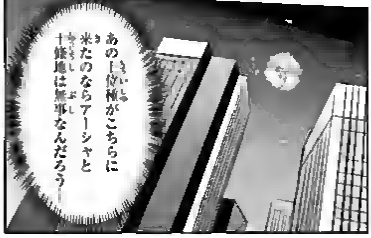
ん？
あれは…
石…？

熱い…
なんでこんな物を
懐中時計に…
近いっ！
ふふふ
猿どもの近似種で
ありながら
やってくれるものだ！

なるほど
竜の種族をも欺く
策があればこそ
飛行に挑んだのだな
なかなかに良い趣向だ
名も知らぬ少年よ
ラーク、アル・ソスは
君を狩り立て
オ
オ
オ

八つ裂きにすると
警告を立てよう！

買いかぶりも
いいところだぞ…


あの十字槍がこちらに
来たのならアーシャと
十傑地は無事なんだろう

携帯が繋がれば
向こうの状況も
訊けるんだけど…
この辺りはアンテナも
機能してないから
繋がらないんだよな
ストン

そのうち
探索系の魔術も
使い始めるだろうな

予備の
「時計仕掛けの魔術師」は
ともかくとして
すっ
チャッ
攻撃魔法と併用
すれば熊ぐらい
なら何とかなる
かもだけど
こんなときには
何の役にも
立たないな…

……
やっぱり…
死…
は…？

……
…考えてみたら
奇跡を演出して
くれそうな知り合いは
あんたくらいしか
いないからさ

いきなり出てこられても
あまり驚きはしないけど…

盟約のリヴァイアサン

The Leviathan of the Covenant

VOL 2

THE LEVIATHAN OF THE COVENANT

VOL. 2

ORIGINAL STORY & ILLUSTRATION
JOE TAKEDUKI & YU Y NIMURA

第6話
悪魔の取引
「あくまのとりひき」

この間と今回
僕が変な風になった原因があんたにあるなら礼を言う気にはなれないかもしれない
その辺どうなんだい？
まあおまえを試すつもりで小細工したのは誤めよう
最初に見かけた時おまえの目と心を少しばかりいじっておいた
なかなかの趣向であっただろう？

僕をドラゴンの前でパニックにさせて何を試せるっていうんだ…
納りとか呪いとか言われる方が身に覚えもあるから素直に納得できるよ
死ぬつもりがあるなら一息に殺している
その程度の力ならまだどうにか違っているからな
実が見たかったのはおまえの底だ
絶対赦わぬ怪物を前にした令の瀬戸際であっても
死ぬ寸前まで活路を求めあがける事か否か

最低限その程度の
器量が無くては
そやつがあっても
無駄というもの

そやつ…
だって？
うむ
その隕石よ

覇者の称文字に
焔を吹き込む
隕星のかけら…
人間ごときの手に
あると知ればすべての
智慧ある竜は激怒し
嫉妬に狂うて
あろうな
笑える話だ

そういえば
以前もそんな事…
ところで小僧よ
あの竜めはおまえを本腰
入れて狩るつもりのようだ
我が【自】
どもに告ぐ

急ぎ探索を
見つけ我に
報せよ
あれは全て
おまえを探す
ための物見役
あやつめ人間如きを
檻のおよぶかぎり
逃おうとは
誰狂な
真似をする
ドラゴンが間近に
いるのに発作が無い
ピク

彼女の言う『小細工』というのはもう解かれたのか…？
……
わざわざ僕を試してあんたは何をしたいんだ？
まあそのことには山ほど文句を言いたいけど焼け死なずにすんだのはあんたのおかげだから
礼は一応言っとく
礼はいらん
下心があって為した事だからな

気づいているか
小鳥
おまえは今
悪魔に憑って
いるのだぞ
あ 悪魔？
うむ
おまえを修羅の
道にいざなう美魔
一瞬で焼け死ねた
はずのおまえを
わざわざ救いだし
もっとろくでもない
死にざまを迎えさせ
ようとする美魔だ
取引をしよう
スッ

おまえに
屠竜の力を

竜の禍紫が何よりも喜び
求めてやまない
最古の禍大まを
くれてやる
消え失れ

それはおまえに竜狩しの
特権を授けるだろう
あの竜ごときどうとでも
味殺できる力だ

なんだって？
兄人として生き
兄人として死ぬのを
あきらめろ
その代わりおまえは
戦う神にもなれるし
だからおまえは
その石と――
「まともな死に方」を
差し出すがいい
地上を滅ぼす
悪魔にもなれろ

…かもしれぬ
それに見合う器量が
無ければ野垂れ死ぬ
だけだが
ものすごく
胡散臭い
勧誘だぞ…
……
妾と盟約を結べ小僧
おまえを王に
この世の「蛇」ども全てを
したがえ竜族より畏怖と
憧憬を集める者にしてくれよう
外で騒いでいる
竜だがな
あやつがこのまま
おまえを狩ったと
しよう
しかしそれで
満足しなかったら
どうなる？

おまえにはたしか
連れの娘が二人
おったな
血と横暴を好む
竜族のはしくれが
見逃すかどうか
賭けではあるだろう
……
ダメで
もともと！
…自称悪魔とか

ツッコミどころは山ほどあるけど
どうせ電に狩られるんだから物は試しだ
あんたの誘いに乗ってやるよ
ギッ
いいだろう小僧！
ならば先に逝むがいい！
ポッ

それで…

僕は次に何をすればいいんだ…
くっ

ドラゴン!?

ドン
ア
ン
ア
ン
ア

熱っ!!
熱い!
熱い熱い熱い熱い!
さあ小僧
その新たなる炎を
災なる劫火へ
吹き込むがいい
ただし焼け
死ぬ前にな
あああああああああ!!

できなければ
おまえはここで燃え尽きる
以外の道を辿られぬぞ
その話は
聞いてないぞ！
る…
ルルク・ソウンの
魔術記号…
なのか？
これはかの秘文字の
中でも覇者にのみ
許される最高の刻印
中でも姜が最も愛し
重用した「三」の一文字を
くれてやる

だが燐光のかけらより
燃した焔をともせば
主が息絶えたとき
《コフの契文字》も
一度は燃え尽きた
再び屠竜の権威を
世に示すであろう
――――
この妙な字も
巻き添えにすれば
いいのか？

死力を尽くせ小僧
力というのは己の手でつかみ取り引き寄せるものだ！
こんな所で死ぬのは絶対にごめんだ！

はたして
新たなる時代に
新たなるそろもんが
生まれるや否や

しばらく遊んでみるのも
悪くはなかろうて

ポ

盟約のリヴァイアサン

The Leviathan of the Covenant

vol. 2

THE LEVIATHAN OF THE COVENANT

VOL. 2

ORIGINAL STORY & ILLUSTRATION
JOE TAKEDOWN & YUJI HIMURA

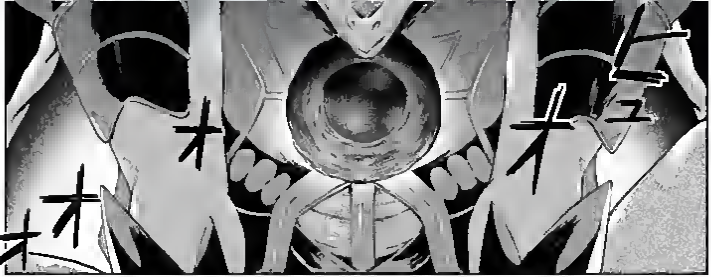
第7話

[よみがえるほーのーおー]

よみがえる焔

火傷一つ無い…
くいっ
衣服も無事
夢…いや
夢ならどれだけ
良かったか

まさか一晩で二匹も上位種と出くわすなんて…
パラ
ピ
死んでいるのか!?


ヒュオオオ

つまりあんた霊は霊でも

ドラゴンの霊だったんだな…
ふふ…

そういえば
弓の秘文字はどこに…？
覇者の秘文字をくれてやる

逃げるのはもうおしまいかね
ガラ
ガラー
人の子よ

オオ
オオ
オオ
オオ

ドドド

君がこれほどの秘密を
知っていようとは
思いもよらなかった
礼を言うぞ
人間

くくく
女王の徴があると
なれば当然
〝あれ〟も見つかる
かもしれぬわけだ
人の子よ
すみやかに答えてくれ

このような所で
女王の亡骸を見つけ
られるとは！

紅蓮の女王が持つ
霧竜の秘文字と言えば
名高き屠竜の弓…
彼女のそばに
刻印はなかったかね？
知っているなら言え
知らなければ――

ドッ
ドッ
ドッ
ふむ
何も言わぬか

ならば是非もない

あぁあぁあぁあ

あ!!

痛いッ
痛痛痛痛
痛痛痛ー
ろくな死に方はしないと
思っていたけどこんな…
…ん？
まだ生きている…？
そうであったか…
なんと人の子が竜王の陰に
足をかけていたとは
ピクッ
ほう…

いにしえのぎりしあ国で
似たような剣を耳にしたが
今の世で繰り返されるとはな
ぐあっ
傷一つついてない…

偽りの王よ
二千年ぶりに魔王の称号で呼ばせてもらおうか
かりそめとはいえ御身も「ゴを引き継ぎし覇者」
礼を尽くして狩かせていただくとしよう
幸いわが身中の炎もずいぶんと高まっている
今なら先ほどのような不手際はしないで済みそうだ

ルルク・ソウンの秘文字よ！
コオオオ

理解る
焔の威力を
高める魔術か！
御身を焼きつくし
新たなる僧主の覇権を
讃えさせていただこう
さらばだ

やられて
たまるか！
ゴオッ
いいのか小僧？
ぐっ

あやつを撃てばもう
後には退けないぞ？
今さらなことを
あんたが言うな！
わかる
わかるぞ！
キィィィィィ
すぐに『弓』を

竜弑しの弓ってやつを造り出せ！

ブロ
ブロ
バッ
オオ
なに!?

オオ
オオ
オオ

撃てる！
この死せるドラゴンの骸を介して
『弓』の力を！

すでに竜帝の力を掌握していたか！
く――!?
ゴオオオオオオ
撃て！

おおおおおお!?
パラ
パ
瞬間移動――!

ドパ
今は別れを
告げさせて
もらうぞ人間よ

だが私は必ず
勝い取り
君を八つ裂きに
すると誓おう
君を殺し
その『ラ』を必ず
奪い取ってみせると！
ふう…
スン

ハア
知ったことか

盟約のリヴァイアサン

The Leviathan of the Covenant

VOL 2

THE LEVIATHAN OF THE COVENANT

VOL. 2

ORIGINAL STORY & ILLUSTRATION
JOE TAKEDUKI & YUI NIMURA

【しらさかはずみ】

白坂羽純

第8話

スウ…

ガクン
くらっ
どこか怪我をしたの？
全然やられてる感じはしなかったのに
心配いりません…少し血糖値が下がっただけです
「蛇」の肉体を地上に繋ぎ止めるには相応の力を消耗するのが自然の理と言えます
つまり…
おなかがすいたってこと？
血糖値って
ぐー
あっ
あ あまりストレートに表現しないでくださいっ
私よりも早く晴臣を探しましょう
上位種相手に追いかけっこなんて…

え
オ
オ
オ
オ
オ

なんなの
あれは…？
ここから
近いようです
あの上位種が
何かしたのかも
しれません
オ
オ
オ
オ

「魔女の館」
おはよう
ございます
友加里さん
おはよう
羽純さん
さっそくだけど
変な事になってる
みたいなの
メールに書いた通り
昨夜の「盟約の儀」
上位種のドラゴンに
襲撃されて中止に
なってしまったの
幸い護衛役の活躍も
あって魔女候補者は
大丈夫だったそうよ
はい 昨日の夜
織姫姉さまも無事を
知らせてくれました
そういえば
あなたたちって
従姉妹同士だった
ものね

問題はその上位種と
織姫さんのために
用意した副葬品が
行方知れずということ
儀式進行役だった
男の子と一緒にね

抜け目がないくせに
変なところが貧乏くじを
ひく子だからちょっと
心配だわ
お知り合い
なんですか
友加里さんの!?

あ あの
よろしかったらわたし
廃墟の方に探しに
行きましょうか？
水無月に頼めば
人探しの魔法を使って
もらえるかもしれませんし

ありがとう
でも大丈夫
一緒に進行役を
していた子宛に
「どうにか無事
帰還して結婚」って
メールがあったそうよ
そ
それだけ
なんですか？

偏屈で変わり者な
社会性もちょっと
あやしいし
でもあの歳にしては
随利きだしあちこち
旅慣れていて面白い
男の子よ

もしこの縁があったらちょっとお話をうかがってみたいですね
ぱあぁっ
偏屈で変わり者をスルーするあたりさすが羽純さんだわ
そうね
あの変わり者の対人バリアーをその天使っぷりで叩き壊してもらうのもいろいろ面白いかも
へ 変なこと言わないでください
わたしそんなのじゃありませんからっ
ぶんっ
ぶんっ
羽純さんには当分ここで待機していてほしいの
旧東京に現れた上位種がどこに消えたのか確認が取れるまで
万一また出てくるようなことがあれば――
が がんばります

羽純さん以外にも
あとひとり
特級認定の
魔女がちょうど新都に滞在中
だから私は彼女を口説きに
いってくるわね
はいはい
お願いしますっ
…
やっぱりここが
一番落ち着く
学校の皆は
どうしてるん
だろう…

ポカ
イイイイ
どうしたの水無月？
驚かせたようだな
〝まがいもの〟の
魔約者よ

不作法を容赦して
ほしいものだ
もちろん空より華々しく
舞い降り この血を狂乱で
灼き浮めるべきだとは
承知している
それこそが雪の
種族の流儀で
あろうと
だが私は今
なんとしても力を
たくわえ
次の晋険に
そなえねば
ならぬのだよ
きゃあああっ!?
我が名は
ラーク・アル・ソス
王への道を探求する
放浪者である

君の〝よがいもの〟を
強奪させて欲しい
偽りの王を切り裂き
玉座より引きずり
おろすため
私にも
屠竜の力が
竜弑しの武具が
必要なのだよ！

もう朝か…
やっぱり昨日のあれは夢じゃないよな…

ソスにやられたときは無傷だったのに
ルルク・ソウンの魔術記号も消えているしどういう事なんだ？
バカめ
それはおまえが“その気”ではないからだ

あんたはパッと
消えたり出てきたり
できて便利だよな
そうでもないぞ
実在化できる時間は
たいして長くもないからな
あんたのあやしい
誘いに乗ったのは
こっちだから文句は
言わないけどさ
パン
無茶苦茶じゃないか
ゾウに踏まれても
壊れない感じだったぞ

もちろん壊れる
わけがない
〝その気〟になったお前を
葬るならそれこそ竜どもが
全力で吐く炮以上の炎は
ほしいところだ
あれ そこまで
人間離れしてるのか…

ところでその気って
具体的には？
「死にたくない！」
とか？
そんなところだ
パン
パン

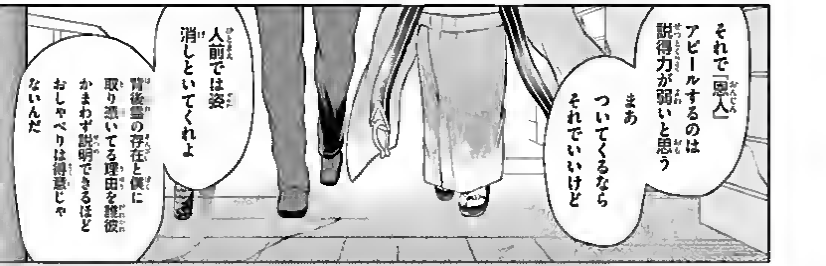
しかし小僧
その程度おまえが
手にした力の
余様に過ぎぬ
ぴっ

あの竜めを退けた
「弓」の威力
忘れてはいまい？
あれこそが屠竜の弓
竜をも殺める天上の
武具だ
よろこべ
ルルク・ソウンの
秘文字のなかでも
最高位の封印を得て

おまえは神の鉄槌を
手にしたも同然なのだぞ
昨日はたしかに
撃てたけどさ
あのときに「弓」の
材料に使った
あんたの体
あれもう
ないだろ
バラバラに崩れて
しかも燃え尽きてる
屠竜の弓を
作り出すことが
《弓の秘文字》の
能力だとすれば
材料になるのは
「竜の肉体」
なんじゃないか？
それなりに目端が
利くのはおまえの
取り柄と言える
かもしれん
だが浅いな
思慮が浅すぎるぞ
それでは

どうだ？
おまえが土下座でもしてみせれば奏も仏心を起こし
手とり足とり指南してやる気になるやもしれんぞ？
べつにいいよ
指南役としてあんたはあまり信用できないから
腹も減ったしさっさと帰ろう
あの後毛布とこいつが見つかってくれて助かったよ
てく
てく

ストーカー立ち入り禁止がうちのルールなんだけどなぁ
おまえには一度命の恩人に対する礼の示し方を教えねばなるまいな
下心ごみで人助けした地球外生命体だろ？
しかも僕の方も結構なリスクを背負い込んだし
なんだかんだで

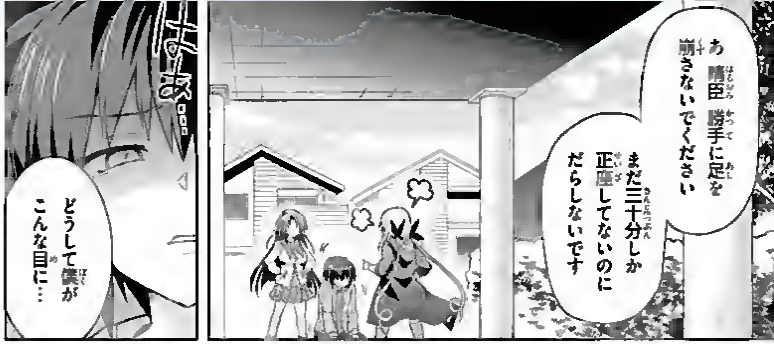

それで「恩人」アピールするのは説得力が弱いと思う
まあついてくるならそれでいいけど
人前では姿消しといてくれよ
背後霊の存在と僕に取り憑いてる座田を彼女かまわず説明できるほどおしゃべりは得意じゃないんだ

それについてはお対の望みどおりになるだろうよ
というと？
地上の事象に干渉するための力はたいして残っていないのだ
姿はすでに死せる身であり
しかも昨夜の戦いで殆ど失ったからな
そう気軽に実体化もできん
つまり「すこしはある」ということか

火之迦具土と呼ぶがいい

ならば…
何て呼べばいい？
そうだ
今更なんだけど
あんたの名は？

そろそろ練習も十分かしら？
春貴くん反省文を一回読んでみて
ええと
「みなさんにご心配をおかけして申し訳ございませんでした
今後このような不手際がないよう細心の注意を払い
常に報告・連絡・相談を忘れることなくグループの一員であるという自覚をもって行動いたします」
全然ダメじゃない
誠意と熱意がどちらも欠けているわ
自分の立場をよくわかってない証拠ですね

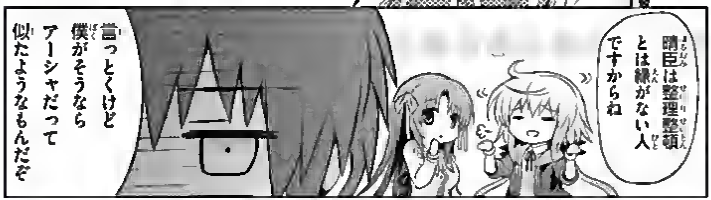

あ 晴臣 勝手に足を
崩さないでください
まだ三十分しか
正座してないのに
だらしないです
どうして僕が
こんな目に…

ピンポーン
ゴゴゴ
無事なら無事と
どうして迅速かつ
詳細に連絡をよこさない!?

とにかく
春賀くんが無事で
よかったわ
ふう
それとお礼を
言わなくちゃね
え？
昨日はありがとう
わたしがここで元気で
いられるのは半分
アーシャさんのおかげ
もう半分は春賀
くんのおかげよ
ここだけの話
春賀くんが無事だと
知ったとき ちょっとだけ
泣いちゃった
わたし本当に
心配したんだから
こういうのはもう
勘弁してね？

なんだこの
暮とアメは――！
ここだけの
話ですよ？
実は私も晴臣の
無事を知って
枕がずぶ濡れに
なるくらいベッドで
泣いてしまいました！
しくしく しくしく
だば～
だば
君に限ってそんな事は
ないんじゃないか
アーシャ？
私にはどうして
冷静にコメントを
返すんですか!?
くすくす
長い付き合いだし
こんな事で今更
泣くとも思えない
しなぁ…
そろそろ
中に入ろう

だいぶ散らかっているのね 春貴くんの家って
そうかな？ 僕は結構居心地よく暮らしてるぜ


晴臣は整理整頓とは縁がない人ですからね
言っとくけど僕がそうならアーシャだって似たようなもんだぞ

ところで晴臣 あのソスという上位種からどうやって逃げ延びたのですか？
わたしも訊きたい ふつうなら生き残る方法はないって みんな言ってたのよ？
……あのあと

僕たちのところに
もう一匹ドラゴンが
出てきたんだ
あいつらは仲たがい
したあげく同士討ちを
はじめてさ
ソスは傷ついて
逃げていったよ
もう一匹は…死んだ

でかい火柱が
立ったのはこの
戦いのときだな
そんなことが
あったんですか!?
さすがにこんな
ラッキーでもないと
あそこで生き残るのは
無理だよ

人に色々話す前に
自分で調べておきたいし
わからないことが
多すぎるしこんな
もんだろ
たしかに
そうですね…
でもソスが手負いと
いうのはうれしい情報です
べつの土地に去って
傷が癒えるのを待つ
可能性も高いでしょうし
うう…
私は必ず舞い戻り
君を八つ裂きにする!

実はさっき柊さんに電話で頼まれたんです
昨日の上位種が東京近郊に出現したときに備えて「館」で待機してもらえないかって
羽純と一緒にという話よね
羽純？
わたしの従姉妹で新都…というより関東地方では唯一の魔女よ
この間わたしたちを助けてくれた水無月のパートナー
一族から魔女がふたりも出るなんて
君の家系はそういう才能に恵まれてるんだな
それはわからないけど羽純は十二歳のときから二年もやっているわ
ただ優しくて体も弱い子だから「戦い」とかにはなじめないみたいで…

もしかしてその人は君に似てる？
性格がって意味だけど
全然似てないわ
だってあの子は天使だもの

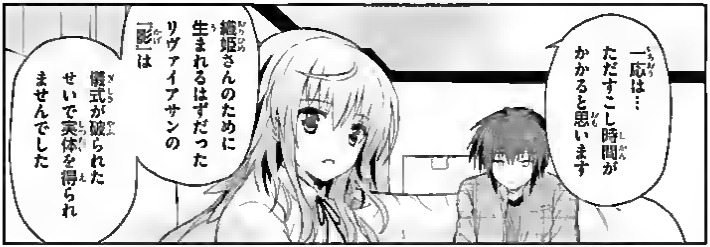
は？
!?
だから天使
天使のように性格がいい女の子なの

おとなしくて裏表がなくて優しくて
ひかえめだけど笑うと表情がきらきらしてよく気がつく子で
へぇ
どんな偏屈頑固おじいさんもあの子を最愛の孫みたいに可愛がるんだから
十條地

君が言ってることは
物理的にありえない
僕らの汚れた人間世界に
「天使」なんて幻想生物は
いやしないんだから
その子だってきっと心の底に
どす黒い負の感情が煮えたぎっていて爆発のときを
待っているはずだ
妄想の色メガネ
越しの思い入れを
勝手に投影して
思春期の女の子を
苦しめるのは
よくないと思うなー
そういう決めつけは
あの子と直に会って
からしてみて
ほら
羽純の写真

かわいいでしょう？
び 美少女ですね…
そういうことで気のやさしい子だからあまり危ないことはさせたくないの
わたしにも魔女の素質があるって聞いたときはあの子の負担を減らしてあげられると思ったんだけど…結局儀式は失敗しちゃったし
うつ…

そうだ
これ返して
おくよ
ありがとう
春貴くん
ところでこれを
使って盟約の儀式
わたしの「蛇」を
もう一度造ることは
可能なの？


一応は…
ただすこし時間が
かかると思います
織姫さんのために
生まれるはずだった
リヴァイアサンの
「蛇」は
儀式が破られた
せいで実体を得られ
ませんでした

霊体のまま現世をさまよう
「蛇」を見つけて呼び寄せる
のはすこし面倒な儀式に
なります
じっくり時間を
かけないと…
あとはまた何か月か
待ってもらって新しい
「蛇」を生み出す形に
するかだな…

リヴァイアサンの練成儀式には
《GAIA》本部の
地下にある魔術装置が
必須なんだけど

一ヶ月に一度しか
使えない上に順番待ちが
あるんだよ
わかったわ
気長に待つことにする

じゃあ今日の予定を
決めちゃいましょう
わたしはこの家を
これから徹底的に
掃除したいわ

なんで十條地が
僕の家を掃除
すんのさ？
わたし自分で
言うのもなんだけど
椅麗好きだし掃除も
好きな方なの

ここまで片付け甲斐の
ある家見過ごすのは
もったいないし
いいでしょう
さっきの話がどうして
掃除と結びつくんだい？
儀式は関係ないの
春賀くん
ちょっと時計を
見てくれる？
10:28
午前十時
二十八分だね

今朝学校へ行く前に
春賀くんの様子を
見ようとアーシャさんと
待ち合わせたの
……
でも春賀くんまだ
帰ってなくて
仕方ないから
ズル休みして
無事を確かめる
ことにしたのね
今さら学校に
行くのもなんだし
お願い
まあ
まかせるよ…
本当？
よかったわ
やっぱりこういう
たまり場に出来そうな
場所は綺麗にして
おきたいしね
たまり場!?
このメンバーが集まる
場所としてはここを
有効活用するべき
じゃない？

そうそう
さっき言った羽純も
近いうちに
連れてくるわね
そうですね
晴臣はもっとわたしたちに
協力的になってもいいと
思いますしいいんじゃ
ないでしょうか
チラッ
じゃあ掃除用具
あるところを
教えて
足りないものが
あったら買って
こなくちゃ
橘姫さん
買い出しくらい
晴臣にまかせて
いいんですよ？
ううん
やっぱり疲れてる
だろうし晋賀くんは
休ませてあげないと
アーシャさんも
羽純のところに
行ってあげて
一晩で随分仲良く
なったもんだな

織姫さんは
晴臣の扱い方
結構わかっている
ようですね
僕の扱い方って
何だよ？

お節介すぎても
無関心すぎても
いけないから晴臣の
相手は面倒くさいんです
僕は別に面倒な
相手じゃないよ
基本的に放って
おかれるのが
一番好きだし

まあでも この家を
掃除したがるなんて
十條姫は変わってるな
ああいう女子力の
高い知り合いが
できるとは
ちょっと驚きだ
ガサッ
晴臣
今なんて
言いました？
ぷるぷる
ぷる

女子力が高い？
それですっ
目の前に一番深い仲の女子がいるというのにそれは何ですか!?
わわ…私の女子力がまるで低いみたいに…
あぁ
いや実際アーシャはそういう低いだろう？
どこの国に行っても住む屋屋も全然こだわらないし散らかし放題でもたいして気にしないしさ
住めば都とか言って

いーいいじゃないですか人間毛布一枚くらいのスペースがあれば鼻のには困りませんし掃除をしなくたって死ぬわけじゃないんですから…
ずうううん
それより女子力の問題ですが
住まいはともかくとして食の方は得意分野です
宰臣が一番よく知ってますよね？

まあね それは
忘れちゃいないよ
でも君の場合生きた
鳥をシメて処理して
肉にするところから
するじゃないか
女子力より
ワイルドな生命力の
旺盛さを感じるよ
うん
でしたらもうすぐ
お昼の時間です
美味しい手料理を
ご馳走してあげますから
私が女子力で織姫さんに
劣るという認識を改めて
くださいね？
私の隠された潜在能力を
見せつけてあげます！
でもこれから
「鹿」に行くんじゃ
なかったのか？

ピンポーン
緊急事態でもないんですから後回しでいいですよ
じゃあ私も材料の買い出しに行ってきますね！
こ…断っておきますけど
別に織姫さんに対抗心があって晴臣に女らしさをアピールしたんじゃありませんからね！
女としての沽券にかかわる問題だから仕方なくやるだけであって
さらさら
そうなのか？
あやうく誤解するところだったよ
すうん
行ってきます
とぼ
とぼ
アーシャにも一応女の面子とか気にするところがあるんだなー
キー
そういえば火之迦具土はどこに行ったんだろう？
昨日の晩のこと親父のライブラリーに何か情報があればいいんだけどな…
カチ
カチ

きゃあああああ!!
十條地!?
どうした!?
まさかもう
ラーク・アル・
ソスが!?
あ
大声出しちゃって
ごめんなさい
ネズミでも
見たのか？
ええとね
以前呪いとか
祟りとか言ってた
でしょう？
それを踏まえた
うえで訊くけど
この家もしかして…
出る？

もしかして見たのは
紅い和服を着た
女の子だった？
ふふふ
やっぱりあれ
幽霊って
ことでいいの!?
あー
なんなんだろう
ねぇあいつは
僕もいまいち
わからなくて
二、三回しか
会ったことないし
そうなんだ…
わたしには
ちょっと変なこと
言ってきたんだけど
変なこと？
ええ
「おまえは蛇が
欲しいのか？」
みたいなことを
ほかにもいろいろ
言ってたけどびっくり
して聞き逃しちゃった
意図があって
十條地に接触
したのか？
晴臣！
織姫さん！
今 柊さんから
連絡がありました！

昨夜東京に現れた
上位種の居場所が
はっきりしました
新木場の「館」です
一時間以上前に
「館」を襲撃して
占拠したそうです
現場にいた
織姫さんの従姉妹は
「蛇」と一緒に囚われの
身となったと聞きました
そんな…
羽純が!?

昨夜の一件と今回のソスの行動が無関係とは思えない
むしろ…
ギュッ
狙いは僕と火之迦具土ではないのか？
巻き込んでしまったのか…
オオオオ

THE LEVIATHAN OF THE COVENANT

VOL. 2

to be continued...

TACHIKOTETO PRESENTS

ORIGINAL STORY & ILLUSTRATION
JOE TAKEBUKI & YUJI NIMURA

著者[結津テト]コメント

盟約のリヴァイアサン コミカライズ2巻

お手にとって下さり
ありがとうございます!!

今巻はバトルタメで大変
でしたが晴臣の色んな表情が
描けて楽しかったです!
次巻は…ついに…おっぱい!

Special Thanks!!
丈月城 先生
仁村有志 先生
ばうさん ぷちマルさん
各担当様方
AFTERGLOW様
アシスタントさんたち

2014.09

第3巻

2014年冬
発売予定!!!

盟約のリヴァイアサン

The Covenant of the Leviathan

【あいやくのこうあらわれよ | VOLUME 3】

NEXT STORY

◀◀◀次巻予告

「ン…ンれが…晴臣の…身体…っ」

ドラゴンの魔法により晴臣とアーシャの中身が入れ替わってしまった!?

※本当の予告は次ページに! ◀◀◀

次巻予告
晴臣との戦いで
力を消耗した
上位種・ソスだったが
その力を蓄えるために
織姫の従姉妹・羽純を
手中に収める。
そして羽純を救うために
晴臣、アーシャ、そして
織姫の3人が
ソスとの決闘の場へ
向かうのだった――
できたと、
思うことにしましょう」
「最期の敵が
上位種というのも、
あの子にはお似合いかもしれません。
盟約のリヴァイアサン
VOL.3
発売予定!!!!!!!!!!

「ルサールカの死に場所が
だが、ルサールカの「本気」がはたしてどれだけ保つか?
ちょうど旧東京での
最期の時を迎える覚悟の
ルサールカとその魔女アーシャ、
新たな力を手にする機姫、
借りもありますし
今度は全力のルサールカを
ソスに見せてあげます」
そして皇臣が持つ「竜」氣しの力が
いまラーク・アルソスを追い詰める――!?
2014年冬

盟約のリヴァイアサン 2

2014年7月31日発行 ver.1.0

著者　館津テト
原作　丈月城
発行者　三坂泰二
編集長　土方隆
発行所　株式会社KADOKAWA
〒102-8177
東京都千代田区富士見2-13-3
03-3238-8745（営業）
編集　メディアファクトリー
0570-002-001（カスタマーサポートセンター）
年末年始を除く平日10:00～18:00まで
©Teto Tachitsu 2014
©Joe Takeduki 2014
http://www.kadokawa.co.jp/

※無断で複製・複写・データ配信などをすることは、かたくお断りいたします。

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
MFコミックス アライブシリーズ
盟約のリヴァイアサン 2
発行日　2014年7月31日　初版第一刷発行

BOOK☆WALKER